

第 62 回 原子燃料分科会 議事録 (案)

1. 日 時：2025 年 7 月 17 日 (木) 13 時 30 分～16 時 00 分
2. 場 所：一般社団法人 日本電気協会 4 階 特別会議室 (Web 会議併用)
3. 出席者 (敬称略, 順不同)

出席委員：山本^(幹)分科会長(名古屋大学), 宇埜副分科会長(福井大学), 鶴田幹事(東京電力 HD), 左藤(三菱重工業), 本谷(東芝エネルギーシステムズ), 安田(日立 GE ヘルノハニュークリアエナジー), 渡部(三菱重工業), 石田(関西電力), 浦野(中部電力), 松藤(東北電力), 島本(四国電力), 谷口(中部電力), 中西(日本原子力発電), 松尾(九州電力), 鈴木(理)(原子燃料工業), 廣木(日本原燃), 中村^(光)(グローバル・ニュークリア・フュエル・シヤパン), 天谷(日本原子力研究開発機構), 永沼(日本原子力研究開発機構), 三輪(日本原子力研究開発機構), 北島(電力中央研究所), 名内(電力中央研究所), 松井^(エネキ)(総合工学研究所), 亀山(東海大学), 北田(大阪大学), 黒崎(京都大学), 寺井(東京大学 名誉教授), 鈴木(嘉)(原子力安全推進協会)

(計 28 名)

代理委員：今井(北陸電力, 室谷委員代理), 中山(北海道電力, 安井委員代理) (計 2 名)

欠席委員：中居(電源開発), 山下(日本原子力研究開発機構), 高木(東京都市大学) (計 3 名)

常時参加者：福田(三菱重工業) (計 1 名)

説明者：原子燃料管理検討会 野中副主査(東京電力 HD), 原田委員(中部電力) (計 2 名)

事務局：原, 梅津, 山崎(日本電気協会) (計 3 名)

4. 配付資料

資料 62-1 原子力規格委員会 原子燃料分科会・検討会 委員名簿

資料 62-2 第 61 回 原子燃料分科会議事録 (案)

資料 62-3-1-1 JEAG4226 炉心管理指針概要説明

資料 62-3-1-2 JEAG4226 炉心管理指針案

資料 62-3-1-3 JEAG4226 炉心管理指針及び JEAC4001 原子燃料管理規程の
NUSC 中間報告に対する規格委員会ご意見対応表

資料 62-3-1-4 JEAG4226 炉心管理指針中間報告からの修正前後比較表
(NUSC 中間報告 vs 分科会上程版)

資料 62-3-1-5 JEAG4226 炉心管理指針最新知見反映状況

資料 62-3-2-1 JEAC4001 原子燃料管理規程概要説明

資料 62-3-2-2 JEAC4001 原子燃料管理規程案

資料 62-3-2-3 JEAC4001 原子燃料管理規程の改定前後比較表(2020 年版 vs NUSC 中間報告版)

資料 62-3-2-4 JEAC4001 原子燃料管理規程の修正前後比較表(NUSC 中間報告版 vs 分科会上程版)

資料 62-3-2-5 JEAC4001 原子燃料管理規程最新知見反映状況資料

資料 62-4 JEAG4225 制定案の公衆審査に対する意見への対応案に関する
書面審議の結果について

資料 62-5 Web 会議併用における原子燃料分科会分科会長の選任について (案)
参考資料-1 JEAG4226 冒頭文案

5. 議 事

会議に先立ち事務局より、本会議にて、私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律及び諸外国の競争法に抵触する行為を行わないことを確認の後、山本分科会長の挨拶があり、その後議事が進められた。

(1) 資料の確認、代理出席者、定足数の確認、常時参加者、オブザーバ出席者の承認、説明者の紹介、検討会委員の承認

事務局より代理出席者 2 名の紹介があり、分科会規約第 7 条（委員の代理者）に基づき、分科会長の承認を得た。確認時点で出席委員数は代理出席を含め 28 名で、開催条件である分科会規約第 10 条（会議）第 1 項の委員総数の 3 分の 2 以上の出席を満たしていることを確認後、説明者 2 名の紹介があり、その後配付資料の確認があった。

事務局より、資料 62-1 に基づき、分科会新委員 4 名の紹介があった。さらに検討会委員の交代の説明があり、分科会規約第 13 条（検討会）第 4 項に基づき、下記検討会委員候補を検討会委員として承認することについて、分科会規約第 12 条（決議）第 4 項に基づき、Webex の挙手機能により決議の結果、出席委員の 5 分の 4 以上の賛成が得られ可決された。

【原子燃料管理検討会】

- | | |
|-----------------------|-----------------|
| ・ 退任予定 島本 委員（四国電力） | ・ 委員候補 大堀 氏（同左） |
| ・ 退任予定 鈴木 委員（日本原子力発電） | ・ 委員候補 安元 氏（同左） |
| ・ 退任予定 松岡 委員（関西電力） | ・ 委員候補 宇多 氏（同左） |
| ・ 退任予定 安井 委員（北海道電力） | ・ 委員候補 佐藤 氏（同左） |

【原子燃料運用検討会】

- | | |
|-----------------------|-----------------|
| ・ 退任予定 鈴木 委員（日本原子力発電） | ・ 委員候補 安元 氏（同左） |
| ・ 退任予定 松岡 委員（関西電力） | ・ 委員候補 宇多 氏（同左） |

【取替炉心安全性評価検討会】

- | | |
|--------------------|-----------------|
| ・ 退任予定 松岡 委員（関西電力） | ・ 委員候補 宇多 氏（同左） |
|--------------------|-----------------|

(2) 前回議事録（案）の確認

事務局より、資料 62-2 に基づき、前回議事録（案）の紹介があり、正式議事録として承認された。

(3) 「原子力発電所の炉心管理指針」 / 「原子燃料管理規程」の上程について（審議）

原子燃料管理検討会 北島主査、野中副主査、福田委員より、資料 62-3-1 シリーズ、参考資料-1 及び資料 62-3-2 シリーズに基づき、「原子力発電所の炉心管理指針」及び「原子燃料管理規程」の規格原案について説明があった。

審議の結果、二つの規格原案は一括して原子燃料分科会の書面投票に移行することが決定された。

主なご意見・コメントは下記のとおり。

- ・ 資料 62-3-1-4 修正前後比較表の P.25, 分科会上程版で追加した(解説 3.5.3)の記述「・GEXL 相関式は、圧力が 785psig (5.41MPag) 以上、炉心流量が定格流量の 10%以上の場合において、限界出力計算に適用できる。」において、「圧力」は次の段落と同じ「原子炉圧力」に統一した方が良く、『規格手引き』において SI 単位を使用することになっているため SI 単位を正とした方が良く、「MPag」のゲージ圧力の表記方法は「MPa[Gauge]」と修正した方が良く。
- すべて拝承。
- ・ 資料 62-3-2-4 修正前後比較表の P.4~14, 「用語の定義」を分科会上程版において表形式にされているが、これはルール上認めているか。
- 『規格手引き』において「用語の定義」の形式は特に定められていないため、問題は無い。

- 特に異論がなかったため、下記条件で原子燃料分科会の書面投票に移行するかを Webex の挙手機能による決議の結果、出席委員の 5 分の 4 以上の賛成で可決された。
 - ・ 二つの規格原案は一括して書面投票を行う。
 - ・ 現在行っている誤記等チェックによって規格原案に軽微な編集上の修正が入る可能性がある。
 - ・ 書面投票期間は 7 月 18 日(金)から 8 月 8 日(金)とする。
 - ・ 書面投票の結果、可決された場合には、原子力規格委員会に上程する。なお、原子力規格委員会に上程するまでの編集上の修正については、分科会長に判断を一任する。
 - ・ 原子力規格委員会での書面投票の結果、可決された場合には公衆審査に移行する。
 - ・ 公衆審査の結果、意見が無い場合は成案とし、発刊準備に移行するが、発刊までの編集上の修正については、分科会長に判断を一任する。
 - ・ 編集上の修正の範囲を越える変更がある場合は別途審議を行う。

(4) JEAG4225 制定案の公衆審査に対する意見への対応結果について(報告)

原子燃料運用検討会 浦野主査より、JEAG4225 制定案の公衆審査に対する意見への対応の経過について説明があった。前回分科会において対応案を承認いただいた。その後、3月に規格委員会三役の事前説明において上記対応案を説明したところ、コメントが出された。検討会においてそのコメントの反映を検討し、対応案の修正を行った。その対応案について、分科会書面審議を行い、可決された(資料 62-4)。更に書面審議において出されたコメントを反映し、6月の第 64 回原子力規格委員会において承認されて対応は終了した。

事務局より、意見に対する回答をご意見者に送付したところ、コメント反映に感謝する等との回答があったことが報告された。

(5) 分科会長選任について

事務局より、資料 62-5 に基づき、Web 会議併用における原子燃料分科会分科会長の選任について説明があった。

主な説明は以下のとおり。

- ・ 現在の分科会長は、2023年5月末に選任されている。
- ・ 分科会規約第4条（分科会長）第5項では、分科会長の任期は2年となっており、分科会長選任手続きを実施する必要がある。
- ・ Web 会議を併用しているため、従来の分科会での投票用紙配付による単記無記名投票が出来ないことから、本日の分科会で分科会長候補者の推薦を実施、候補者を決定後に、事務局より各委員に、投票用紙及び返信用封筒を送付し、分科会長選任投票を実施、事務局で結果を集約し、分科会長選任結果を次回の分科会で報告することを提案する。

事務局からの説明後、提案の方法について委員の了解が得られ、委員から分科会長候補の推薦を募った結果、山本委員（名古屋大学）の推薦があり、更に他に推薦者がいないことを確認した。候補者を山本委員とし、資料 62-5 の手順に従って、分科会長選任投票を実施することになった。

(6) その他

- ・ 次回の分科会は11月5日（水）午後を予定している。

以 上